

# 序



私たちが生活するこの現代社会は、かつて無い程の規模と速度で進展を続けております。とりわけ、情報化、国際化、高度技術化といった時代の潮流は人々に大きな影響を及ぼしつつあります。激しい社会の変化に対応し、日々の生活を充実させるために、人々は常に学ぶことを必要とし、学習の場の拡大と教育の質的向上を強く求めています。

このような時代の要請に積極的に応えるために、県教育委員会は様々な施策を推進して参りました。昨年度来の主なものとしては、第三次福島県長期総合教育計画第2期実施計画の策定をはじめ、初任者研修の試行の実施、県立清陵情報高等学校の開校、第50回国体に向けての国体準備室の独立等があります。

教育への関心の高まりとともに、県民の教育行政に対する期待は今後ますます大きくなるものと思われまます。時代の流れと県民が望むところを正しく理解しながら、細心の注意と困難に立ち向かう果敢さをもつて私どもの仕事を推進しなければならないゆえんです。

ここに「昭和62年度実績教育年報」を発行するに当たり、本年報が福島県の教育を考え推進する多くの方々に、真に有用な資料として活用されますことを願って止みません。

昭和63年10月

福島県教育委員会

教育長 佐藤昌志